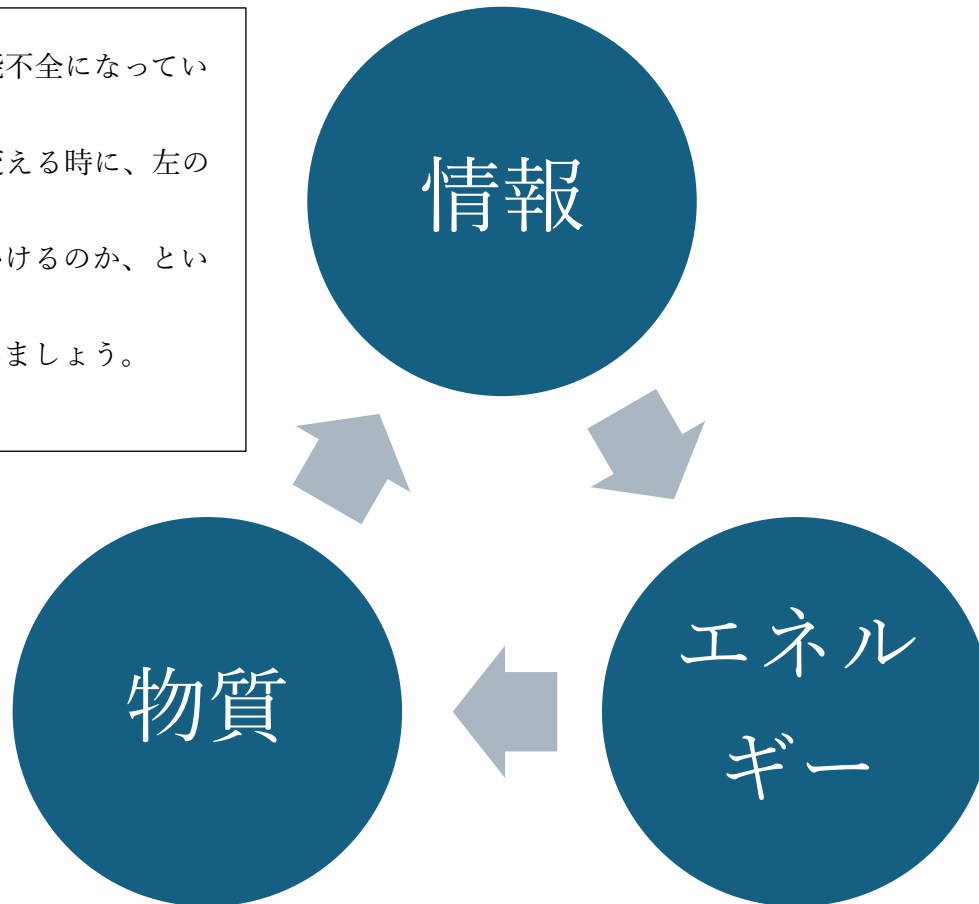


従来の施術・治療と丹田スイッチメソッドとの違い

身体は、物質ですね。機能不全になっている（=体調不良）物質を変える時に、左のどの階層から変化を働きかけるのか、という階層の視点から考えてみましょう。



従来の治療・施術と丹田スイッチメソッドとの違いを階層別に観る・・・

情報→物質（丹田スイッチメソッド→身体）

情報提供して、有るのに使っていない機能を教え、使うよう指示をして、機能を働かせる考え方。

物質→物質

機器、クスリ、サプリ、飲食物、手技などなどの「物質」で人体という「物質」を変えようとする考え方

エネルギー→物質

氣、エネルギーなど「エネルギー」を加えて、人体という「物質」を変えようとする考え方

例) メモリーで落としていた汚れが落ちなくなってきた「自動洗濯機」を例にすると・・・

情報→物質

異なる汚れに対応する機能が、そもそも自動洗濯機に備わっている。機能があることを教え、使い方をスマホで IOT を使い指示する。

物質→物質

汚れが落ちなくなったので、「分解清掃」「部品交換」「ボルト・チェック」などを行う考え方。ダメなら買替え推奨。

エネルギー→物質

汚れが落ちない洗濯機。
コンセントを入れているか、「電気」というエネルギーを観る考え方。

再び、従来の治療・施術と丹田スイッチとの違い

情報→物質

人体の健康維持機能、修復機能、内部エネルギー補給機能、人体バランス機能などを働かせるのが丹田スイッチ

物質→物質

体調が悪くなったら、休養、栄養、手技、運動、クスリ、手術などが主で、人体機能は従か無視する考え方

エネルギー→物質

エネルギーを外から補給する考えで、人体には、内部から根源的エネルギーが補給されるという考えが欠落している。